



2025 年度マッセ・市民セミナー ブロック研修（泉州ブロック）



子どもたちの育ちをつなぐ ～「幼保こ小の架け橋プログラム」とは～

中央教育審議会初等中等教育分科会 幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会からは令和 5 年 2 月 27 日 参考資料として『学びや生活の基盤を創る幼児教育と小学校教育の接続について～幼保小の協働による架け橋期の教育の充実』の中で「幼児期は遊びを通して小学校以降の学習の基盤となる芽生えを培う時期であり、小学校においてはその芽生えをさらに伸ばしていくことが必要」と述べています。

しかし、幼児教育と小学校教育は、他の学校段階間の接続に比して、円滑な接続を図ることは容易でないため、5 歳児から小学校 1 年生の 2 年間を『架け橋期』と称して焦点をあて、架け橋期の教育の充実を図り生涯にわたる学びや生活の基盤をつくることが重要です。

架け橋期の教育を充実するためには、幼保こ小はもとより、家庭、地域、関係団体、地方自治体など子どもに関わる全ての関係者が立場を超えて連携、協働し、幼児教育施設においては、小学校教育を見通して「主体的・対話的で深い学び」等に向けた資質能力を育むことが求められています。就学前施設として、架け橋期のカリキュラムを作成するために何を大事にし、どう幼児教育施設と小学校の継続的な対話を確保していくのか共に考えましょう。

講師

東城 大輔 氏

（大阪総合保育大学）



■プロフィール

吹田市内の私立幼稚園で担任・副担任として 11 年勤務後、大阪総合保育大学に着任。

現在、大阪総合保育大学児童保育学部の幼児教育学を専門とし、幼稚園や保育園、小学校の教員を目指す学生の指導されている。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と保育実践の意味付けや、保幼こ小連携を意識した取り組みについて研究され、四條畷市保幼こ小中連携担当者研修会や泉大津市いちご接続研究委員会の講師として、また大阪府幼児教育推進フォーラム「育ちと学びをつなぐ幼小接続のために」の講演活動をしている。

11 月 6 日 (木)

■著書

『保育の学びーファーストステップ』等の書籍の執筆（共著、青鞥社）『はじめて学ぶ保育3「保育者論」』（共著、ミネルヴァ書房）『幼稚園・保育所のいいところをみつめなおす～こども園の在り方を軸にして（総合保育双書）』等（共著、ふくろう出版）

第 1 部 14:00～14:30
大阪府福祉部による
情報提供（各ブロック共通）

第 2 部 14:30～16:30
マッセ・市民セミナー
（ブロック研修）

阪南市防災コミュニティセンター
（阪南まもる館）
1 階 研修室

定員：30 名（参加費：無料）



< 申込 > 各市町村研修担当者を通じてお申し込みください

泉州ブロック合同研修

申込締切（10月16日）



2025年11月6日（木）

子どもたちの育ちをつなぐ
～「幼保こいの架け橋プログラム」とは～

会 場	防災コミュニティセンター (阪南まもる館) 1 階 研修室
〒599-0202 阪南市下出 14-3	
・南海本線 尾崎駅より徒歩 4 分	



会場

